

奥浦買い物支援視察に 行ってきました！！

6月18日に奥浦地区まちづくり協議会で行っている買い物送迎の視察に行ってきました。大浜からの視察団メンバーは、草野会長と、高嶋地域振興部会長、中里町内会長、佐々野登樹子さん、山田所長、畑中支援員の計6名です。

送迎の視察の前に、奥浦出張所長から買い物支援を行うことになった経緯や、事業概要の説明、視察参加者からの質疑応答をしていただき、奥浦地区からシティーモールとバリューまでの送迎の様子を視察してきました。視察をしてわかったことをご紹介します。

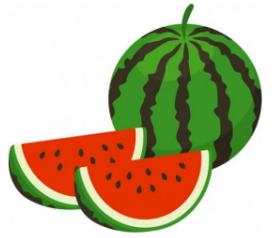
- 送迎の協力をしているのは、介護支援事業所元気村さんで、ドライバーを雇っている。
- 買い物に付き添ってくれる買い物支援員さんもいて、それは民生委員さんが担当している。
- ドライバーさん、買い物支援員さんどちらにもお礼として賃金を支払っている
- まち協から元気村さんに補助金をだしている。そのなかから、ドライバーさんの賃金や、車両の維持費、保険料などを支払っている。
- 送迎利用の際の料金は決まっておらず、謝礼としていくらかいただいている。これは燃料代などに使われるそうです。
- 毎回利用者を確認し、いつも利用されていない人がいるようなら安否確認などを利用者間で行っている。
- 利用者は多い日で13人、少ない日で9人。
- 買い物に行くお店はシティーモールとバリュー。それぞれ買い物時間は1時間。
- 買い物送迎バスは週に2回、午前と午後を送迎している。
- 奥浦地区の成果として、あらゆる環境下においても、安心して日用品などの生活必需品をそろえることができるとともに、高齢者の孤立、ひきこもり等を抑えることにもつながったそうです。

視察を終えて、大浜地区でも困りごととして一番多くの声がでているのが買い物送迎のことです。バリューなどの宅配サービスなどもありますが、やはり自分の目で見て買いものする喜びというのは、高齢の方には楽しみにもなるでしょうし、人との関わりや見守り効果があるということで、とても参考になる視察をさせていただきました。大浜で実現するとなると、車両購入や、ドライバー、買い物支援員さんを誰がするのかというのが一番の問題で、まち協だけの運営はとても難しく感じました。

大浜地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 畑中
五島市役所 大浜出張所内 ☎73-5431



おはまたより vol. 8



翁頭山登山入口に 立派な看板ができました！！



大浜地区の皆様、もうご覧になられましたか？6月中旬に増田町翁頭山登山道入口に、我らが翁頭山の案内看板が設置されています。これは、大浜地区まちづくり協議会の草野会長が、五島振興局に依頼し設置してもらった看板です。デザインは、小泊町の佐々野登樹子さんに考案していただきました。

とても立派な看板なので、遠くからみてもかなり目立ちますね。この看板のおかげで翁頭山に行ってみようという方が続々と増えているようです。大浜地区の皆さんもぜひご覧になって翁頭山でのドライブや登山を楽しんでみてください。

増田町の花壇 はなざかり



大浜から増田方面へ向かうと、ひときわ華やかな花壇が目にとまります。増田町入口には園山町内会長をはじめ、老人会のみなさまが丹精こめて整備している花壇があります。

町の入口がこんなにもきれいにされていると、その町のやさしさが伝わってきますね。増田町は移住されて来られる方にも人気の町となっています。きっと増田町のみなさんの町を愛する心が、町を輝かせているのだと思います。日頃から花壇の草取りや周辺のお掃除ご苦労様です。これからもみなさんと協力し合い、きれいな町を作っていきましょう。





黒蔵町の花壇 はなざかり

黒蔵町公民館横にある花壇にも今年3月に植えた花の苗が立派に成長し、公民館横を華やかに彩っています。こちらも部会員さんをはじめ、黒蔵老人会のみなさんが定期的に除草作業や水やりなどのお手入れをしてくださっています。みなさんの黒蔵町を美しくしようという気持ちが伝わってきますね。



第1回 大浜座談会

6月14日（金）に第1回大浜座談会を開催しました。参加者は、同日行われていたミニデイ参加のみなさんや地域の方々。長寿介護課主催で生活支援コーディネーターの村上さんをお迎えし、大浜地区で生活する上での困りごとや不安なことなどを自由に話し合いました。

やはり大浜でも、増田地区と同じく一番の困りごとは、近くにお店がなくて買い物が不便だという声がありました。他には、電球の交換、家の周りの除草作業、話し相手や相談できる人がいない、若い力が足りないなど、人それぞれの声を聞くことができました。

第2回大浜座談会では、第1回でお聞きした困りごとなどが他にもないか、それからどうやって解決していくかの話し合いをします。どなたでも参加できますので、地域でお困りの方や、手助けができそうな方の参加をお待ちしております。

第2回大浜座談会は、7月10日（水）午前9：10～です。



第2回 増田座談会

6月16日（日）に第2回増田座談会を開催しました。参加者は、こちらも同日行われていたミニデイ参加のみなさんや地域の方々。第2回の座談会は【前回の振り返り・困りごと、助かっていることを考える・解決策を考える】というところを行いました。座談会で出た意見の紹介をいたします。

★困りごと★

○橋が狭い、ゴミを海に捨てる人がいる、津波が来た時が心配、カラオケがしたい、墓掃除が大変などが新たに上がった。

★助かっていること★

○移動スーパーがほぼ毎日来る、海がきれい、自分が入院中に介護が必要な夫を見てくれた、通院や買い物の送迎をしてくれる人がいる、雨の日に公民館で子どもが遊べる等が上がった。

★解決策について★

①地域や家の草刈り、草取りができない、屋根や壁の色の塗り替え、修理 → シルバー人材センターに依頼、簡単な物は地域で有償ボランティア（内容により値段を決めておく）

②家の電球替え、通院・買い物（声をかけてもいいが、お礼をされることがあり申し訳なくて声をかけづらいとの意見あり）、ゴミだし、墓掃除 → 移動スーパーは来てくれている、地域で有償ボランティア（内容により値段を決めておく）、子どもたちにお小遣いを出してしてもらおう、乗り合いタクシーを呼ぶ曜日や時間を地区で決めてみんなで乗る

③夜中に発作が起きたときや病気になった時 → 地域で見守り体制を作る

④ミニデイのボランティアの跡継ぎ、老人会にもっと参加してほしい、老人の役割が多い → 現在の町内会や老人会などの役割や行事をみんなで出し合って、継続するもの廃止するものなど意見を出し合う

⑤自販機が少ない → 新たに自動販売機を設置する方がいたため解決予定

⑥猫やカラスが多い、街灯を増やしてほしい、バス停が遠い、町内放送が聞こえづらい、夏場水が熱い、橋が狭い → 町内会からまち協や市に意見書を提出できないか

⑦カラオケがしたい → 昔、カラオケの集まりがあったので復活させる（音知会）

⑧津波が来た時が心配 → 高台の家があるためそこに逃げる。非難が難しそうな方は大体地域の住民は知っている。（誰が誰を連れて行くか避難時の役割を決める）

第3回増田座談会は、7月7日（日）午後2時～です。

